



か も しょ ぼう  
**可茂消防**

可茂消防事務組合消防本部 公式ホームページ <http://kamo-fire.jp/>



可茂消防事務組合公式Twitter始めました。

可茂消防事務組合グッズが当たるkamo!?  
クイズを最終ページに掲載しています。



不定期開催

救急ワークステーション  
令和4年2月21日運用開始！



災害などの問い合わせは 0180-99-5500

※119番での災害などの問い合わせはご遠慮ください。

(災害情報テレホンサービス)

# 岐阜県内初 24時間365日常駐型

## 救急ワークステーション開所



**高度な医療技術や  
知識の習得のために**  
医療技術の進歩や救急救命士が行うこと  
ができる救命処置の範囲が拡大され、様々  
な処置が可能となり、救命率向上の要因と  
なっています。

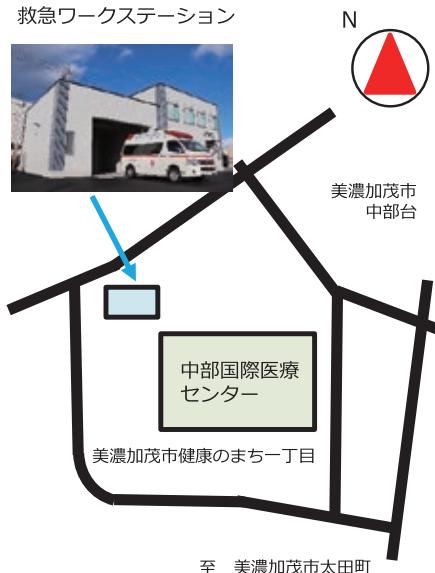
救命率向上には、救急救命士をはじめと  
する救急隊員の教育の充実、強化が不可欠  
であることから、救急隊員は生涯教育によ  
り技術、知識を維持し、救急業務の質の向  
上につなげています。

また、救急救命士の資格を取得した後に  
も就業前教育として、病院内の実習等の  
教育を行っています。

美濃加茂市健康のまち1丁目、中部国際  
医療センター敷地内に併設された庁舎に、  
救急車1台と救急隊員3名が常駐し、交替  
勤務を行います。  
地域の救急業務の水準を高めるため、救  
急隊員の教育の拠点となる救急ワークス  
テーションは非常に重要な施設となります。

また、交通事故現場や意識、呼吸がなく心  
臓の動きが止まっている傷病者の事案など  
様々な現場を想定したシミュレーション訓練  
を繰り返し実施します。  
さらに、救命率の向上のため、重症者、多

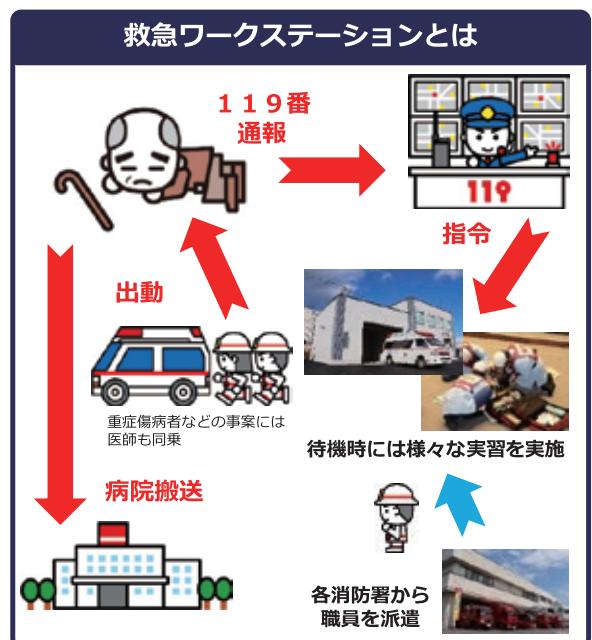
の質の向上につながるとともに、高度な医  
療技術、知識を有する救急隊員の養成のた  
め、岐阜県内初24時間365日救急隊員  
が常駐する救急ワークステーションを令和  
4年2月21日から運用開始します。



### より質の高い、安心で安全な 救命処置の提供を

救急ワークステーションでは、出動に備え  
るほか、中部国際医療センターの救急救命室  
で医師の指導のもと、器具を使用した気道確  
保、心電図測定などの臨床実習や、傷病者  
(けがや病気の人)を観察し、けがの程度や  
病状の原因を推察する能力を向上するための  
実習を実施します。

また、交通事故現場や意識、呼吸がなく心



数の傷病者が発生した場合や、岐阜県ドクターへりが他の事案に出動している場合には、状況により医師が救急車に同乗するため、救急隊員は現場で医師に医療行為の助言、指導を求めるることができます。

これらの実習を継続して実施することにより、救急隊員は高度な医療技術や知識が習得でき、医療機関との連携も強化され、地域住民に、より質の高い、安心で安全な救命処置の提供ができます。

救急ワークステーションには、管内の各消防署から救急隊員が派遣されるため、身に付けた高度な医療技術、知識は、管内各地でその能力を発揮することになります。

そのため、救急ワークステーションから出動した救急隊だけでなく、管内の救急隊も高度な医療技術、知識を習得した救急隊員が出動するため、**可茂地域の救急医療の充実に繋がります。**



## 可茂地域の救急医療の充実

## 救急救命士、救急隊員のレベルアップに

レベルアップに

中消防署

小川 消防司令補

救急ワークステー



ションでは、中部国

際医療センターの救  
急救命室で行う実習

や、医学知識、各種  
マニュアル等を履修  
する座学のほか、事

案を想定したシミュレーション訓練等を実施

します。

継続して実習を実施することにより、病態の経過を含めた総合的な実習が可能となり、救急救命士だけでなく救急隊員のレベルアップにもつながると考えています。

レベルアップした職員が、所属に戻り他の職員に伝達することで、組織全体のレベルアップにつながり、今まで以上のより質の高い、安心で安全な救命処置を提供できると信じています。

救急需要は年々、増加の一途をたどり、高度化、多様化しています。

そこで、救急隊員のレベルアップを図るため、救急ワークステーションの2階に様々な訓練が実施可能な研修室を設けました。

研修室には、各種訓練資機材を配置し、様々な現場を想定した訓練ができるようにならなければ、症例検討会や勉強会が実施できるように大型モニターを設置しました。

この地域の安全・安心を守る新たな拠点として、この救急ワークステーションを有効活用していきます。

## 県内初の施設 地域の新たな拠点に

総務課  
板津 消防司令



病院の敷地内に救急

車1台を配置し、救急  
隊員が24時間365

日常駐する救急ワーク  
ステーションは、全国

的にも数ヶ所しかなく、  
岐阜県内初の施設とな

ります。

研修室には、各種訓練資機材を配置し、

様々な現場を想定した訓練ができるようにならなければ、症例検討会や勉強会が実施できるように大型モニターを設置しました。

この地域の安全・安心を守る新たな拠点として、この救急ワークステーションを有効活

# 令和3年 火災・救急・救助統計

## 火災統計



前年と比べて8件の減少も  
火災による死者は増加

火災件数 / 種別 / 死傷者

市町村名	美濃加茂市	可児市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	御嵩町	計
火災種別	建物火災	12	15	1	1		3	1	1	4	38
	林野火災	1	2				1	2			6
	車両火災	3	2					1		1	7
	その他 の火災	5	11		1	1		1	3	1	24
	計	21	30	1	2	1	1	7	4	2	75
死傷者	死者	3	3					1			7
	負傷者		2					1	2		5



### 出火原因

- 第1位 たき火
- 第2位 たばこ
- 電灯・電話等の配線
- 第3位 炉・ボイラー
- 電気機器・電気装置

(※その他、不明を除く)

火災件数は75件で、前年より8件減少しました。

火災種別では、建物火災が38件(51%)となり、

その他の火災24件(33%)と合わせ全体の8割以上

を占めています。

火災による死者は7名で、前年に比べ2名多く

亡くなられました。

また、火災で5名の方が負傷しています。

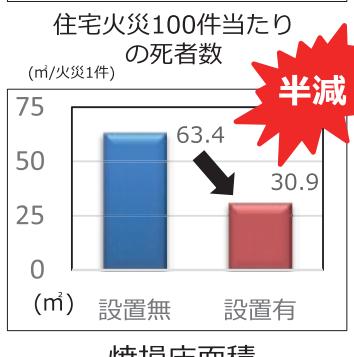
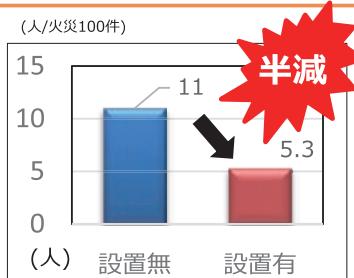
火の取扱いには十分注意してください。



### 住宅用火災警報器の設置効果

設置が義務化されている住宅用火災警報器を設置することにより、どんな効果があるかご存じですか。

総務省消防庁が、平成29年から令和元年までの3年間における失火を原因とした住宅火災について、火災報告を基に、住宅用火災警報器の設置効果を分析しました。



住宅用火災警報器を設置している場合は、設置していない場合に比べ、死者数、焼損床面積とも半減しています。

また、設置している警報器は、定期的に点検して正常に作動するか確認をお願いします。

# 救急統計



1日平均22件の出場

出場件数 / 種別

市町村名	美濃加茂市	可児市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	御嵩町	管轄外	計
救急種別	火災	8	12	1	1	1		2	2		3	30
	自然災害											
	水難事故		4	3	1	1			4			13
	交通事故	183	260	21	27	24	11	32	20	2	50	7 637
	労働災害	29	41	3	7	12		11	3	3	13	122
	運動競技	9	20	1				3		1	3	37
	一般負傷	303	544	47	42	56	28	72	54	14	114	1 1,275
	加害	2	11	2							1	16
	自損行為	27	34	2	3	3	1	5	4	1	5	85
	急病	1,340	2,145	199	150	289	98	210	192	72	460	2 5,157
	その他	316	343	7	3	25	4	27	49	5	42	821
計	2,217	3,414	286	234	411	142	362	328	98	691	10	8,193

## 転 倒



段差、玄関、廊下など

## 転 落



階段、ベッド、椅子など

高齢者が家の中でけがをする原因の多くは転倒や転落によるもので、転倒を防ぐために整理整頓を心がけたり、階段、廊下、玄関、浴室などに滑り止め対策するのも、事故の防止に繋がります。

救急車で搬送されるような病気やけがには、日常のちょっととした心がけで防げるものがあり、原因を知つて対策したり、意識して行動することを「予防救急」といいます。

高齢者が占める割合は全体の6割となつており、原因の2割は転倒等でけがをしたものでした。

前年と比較し276件の増加となりました。

# 救助統計



前年と比べて2件の増加

出場件数 / 種別

市町村名	美濃加茂市	可児市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	御嵩町	管外	計
救助種別	交通事故	11	5	1	1	1	2	1	2	1		25
	水難事故		3	1	1	1		1	2			9
	火災	2	5			1						8
	風水害等 自然災害事故		1									1
	その他の事故	12	16	2	2		1	4	2	3	1	44
計	25	30	4	4	3	3	6	6	3	2	1	87

救助件数は87件で、前年に比べて2件の増加となりました。  
事故種別は、交通事故が25件、水難事故が9件、火災が8件、自然災害事故が1件、その他の事故が44件となりました。

令和4年3月1日から  
3月7日まで

## 令和4年 春の火災予防運動



令和3年度防火ポスター・コンクール優秀作品をもとに作成した火災予防啓発ポスター

令和4年3月1日から3月7日まで春の火災予防運動を実施します。空気が乾燥し火災が発生しやすくなりますので、火の取扱いには十分注意してください。

また、春の火災予防運動に合せて「山火事予防運動」も実施します。

記憶にも新しい令和3年2月21日に、栃木県内において大規模な林野火災が発生しました。乾燥注意報が発令されていたことに加え、強風という気象条件も重なったことから、懸命な消防活動にもかかわらず鎮火まで数週間を要し、広大な面積を焼損しました。現場周辺に住んでいた方は避難を余儀なくされた方もみえました。

ひとたび、林野火災が発生すると鎮火までに時間が要し、被害も大きくなります。林野周辺にお住まいの方や入山される方は、より一層、山火事への防火意識を高め、山火事予防にもご協力いただきますようお願いします。

## 救急車の適正利用にご理解、ご協力をお願いします。



どこの病院へ行けば良いかわからない場合などは

可茂地域救急医療情報センター ☎0574-25-3799

### ぎふ救急ネット

インターネットを利用し、救急医療や医療機関の情報を調べることができます。



可茂消防事務組合グッズが当たるkamo!?

ご応募お待ちしています！

問 題 令和4年2月21日運用開始する可茂消防事務組合の新庁舎名は？

ヒント 「救急〇〇〇ステーション」



応募資格	可茂消防事務組合管内にお住まいの方（美濃加茂市、可児市、加茂郡、可児郡）
応募要領	はがきに、答えと住所・氏名・年齢・電話番号と可茂消防事務組合や広報可茂消防へのご意見、ご要望を記入の上、下記までお送りください。
あて先	〒505-0044 美濃加茂市加茂川町三丁目7-7 可茂消防事務組合 総務課広報係 宛
締め切り	令和4年2月18日（金）当日消印有効
賞 品	正解者の中から抽選により賞品を進呈します。 ※当選発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

☞ 広報紙掲載記事について、ご意見・ご要望等ございましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

■発行／可茂消防事務組合消防本部 〒505-0044 岐阜県美濃加茂市加茂川町三丁目7番7号

■編集／総務課広報係 TEL 0574-26-0144 FAX 0574-25-4899

（電話受付は土・日曜日・祝日を除く午前8時30分から午後5時15分まで）



この広報は再生紙を使用して、地球に優しい大豆油を使用したインキで印刷されています。